

新しいずみ病院

(平成 25 年 10 月 11 日訪問)

平均在院日数 297 日(平成 25 年 9 月 30 日時点)

積極的な取り組みなど

別館(アルコール依存症専門)病棟では、院内で集団精神療法、講話、読書会、例会、院外は断酒会に参加できるとのことだった。

前回の訪問(平成 20 年 6 月)から改善されていた点、未改善点など

隔離室に鉄格子があること、トイレ個室の扉の高さが低いこと、3 病棟には鍵付ロッカーがないこと、2 病棟・3 病棟 A ゾーンでは公衆電話が詰所出入口の横にあること(今回訪問した 1 病棟も同じ状況だった)、診察室がなく詰所で診察をしていること、2 病棟と 3 病棟と 5 病棟のデイルームで分煙ではないことは改善がみられなかった。入浴は別館病棟のみ週 3 回、他の病棟は週 2 回だった。職員の言葉遣いと売店の商品の値段について患者から不満の声はなかった。

病院全体

平成 21 年から錦秀会グループになった。

人権委員会・意見箱

人権委員会は月 1 回の開催。委員長は院長。意見箱は総務部が回収し、投書内容により担当部署に振分ける。回答は病棟に掲示。文字が小さかった。

診察

別館は診察室、他の病棟は詰所で診察が行わる。

面会

10:00~16:00。5 病棟以外は病棟内に面会室がある。5 病棟では相談室や談話室で面会をする。

退院支援

精神保健福祉士は 9 名。入院時、個別に担当がつく。白衣を着ていた。患者は「先生」と呼んでいた。

金銭管理

1 病棟は全員が病院管理、2・3 病棟は殆どが病院管理、5 病棟は半々、別館は殆どが自己管理。管理料は 50 円/日。2 病棟、5 病棟には鍵付ロッカーがあり、2 病棟のロッカー利用料は 50 円/日、5 病棟は無料。別館にロッカーはあるが、鍵を付けたい人は 350 円の南京錠を自分で買う。病院管理の患者が売店で支払う時はレシートにサインする。

病棟について

トイレ

1 病棟と 2 病棟では廊下や洗面所からトイレが見えないようにカーテンがあった。トイレの扉の高さは

約 160 センチで扉の上の方に鍵が付いていた。個室に汚物入れはなく、個室の外に大きなゴミ箱があった。洗濯室に、洗濯機 3 台と乾燥機 2 台があった。うち 1 台の洗濯機は汚物用と書かれていた。無料で使える。5 病棟ではトイレは狭く、男女兼用だった。

病室

6 人部屋が中心で、ベッド周りにはカーテンと床頭台があった。

隔離室(2病棟、3病棟)

詰所奥に各 2 室。ベッドが置かれている部屋と、床が少し高くなったところに布団が敷かれている部屋があった。職員の通る通路側に古く、錆びた鉄格子と扉があった。鉄格子横にポータブルトイレがあった。2 病棟は目隠しのため仕切り板があるが、3 病棟にはない。集音マイク、ナースコール、モニターカメラはない。

電話

1 病棟、2 病棟、3 病棟は詰所出入口の横にあり、囲い等はない。5 病棟は電話ボックスが詰所前にある。携帯電話は 5 病棟と別館のみ、病室以外であれば使用可。

1 病棟 (閉鎖 男女 精神一般 15:1 79 床)

病院側によると「本館では 80%が高齢者。胃瘻や中心静脈栄養の点滴を引き抜く可能性のある患者が拘束の対象となることが多い」とのこと。オムツ交換は 1 日 5 回で 1 回に 2 時間~2 時間半かかる。浣腸する患者は 1 日あたり 3~4 名いるとのこと。病室から「呼んで、呼んで」との声が聞こえてきたのでぞくと、浣腸中というカードがベッドに置かれた患者が便が出てしまって、職員を呼んでいた。

トイレにはトイレットペーパーはない。1 名以外はオムツ使用の為、トイレはほとんど使われていないようだ。

談話室では車椅子の患者が 1 名テレビを見ていたが、他の患者はベッドで寝るかベッドに座っていた。マットレスで寝ている患者もいた。ベッドとベッドの間に少しやわらかいマットが敷かれたところが多くあった。掲示物はほとんどなかった。詰所近くの病室は点滴をして寝ている患者が多かった。サポーターに対して一生懸命に話しかけてくるが呂律がまわらないため、聞き取ることができない患者が複数いた。

患者の声

「何も話すことはない」「何も困っていない」「外に出たい」「もうすぐ退院する」「目が悪いから入院している」

2 病棟(閉鎖 女性 精神一般 15:1 79 床)

病院のリースの服を着ている患者と私服を着ている患者がいた。廊下の長椅子に座って話している患者、親しい者同士でベッドに腰掛けて話している患

者もいた。談話室で職員と貼り絵をしている患者が1名いた。詰所の小窓に「着火マン」があり、そこでタバコに火をつけ、そのまま廊下を歩いて談話室に行き、喫煙していた。談話室にはテレビ、自動販売機(購入できるのは毎日15:00~15:30)などがあつた。

ベッドを使わずマットレスを使っている患者が2名いた。壁に当たっても怪我をしないように、壁にマットレスを立てかけてガムテープで固定されていた。

廊下や談話室には、季節の行事の写真がコメント入りで貼られていた。掲示板に「平成24年から火曜・金曜に開く売店は自分で行ける方のみ対象。自分で買えない場合は週3回病棟管理でおやつがある」旨が書かれていた。2013年5月25日から土曜日にもOTが行われることになったようだ。

15時前にエレベーター前に売店へ買物に行くため患者が集まっていた。売店への買物は週2回。何かを話しかけようとしていたが、職員が近くを歩いているのを見ると、話すのをやめる患者が数名いた。

患者の声

「外に出られない」「タバコは預けないといけない。別館の時は自分で持っていた」「別館の診察は詰所前で並ばないといけない」「診察は2、3分で終わる」「PSWに退院の話や相談をしても『調べときます』と言ってそのまま。信用できない」「(車椅子で拘束されている高齢の患者が何度も)外に出たい」「薬は病室の前に座っていたら持ってきてくれる。詰所の前でもらうときもある」「入院して2年。外出はしない。食事は談話室で、座る席も大体決まっている。食後、看護師が薬をくれて服用する。入浴は週2回4~5人で入る、ゆっくりと入れない。洗濯は自分でする。洗濯機は無料。家族が面会に来てくれる。テレビを見たり、廊下をぶらぶら歩いて過ごす。診察は時々ある」「この病院にはこれまでも何度か数ヶ月間の入院をしている。休息している」「風呂は週2回しか入っていない。わざわざ1階まで行かないといけない」「脱衣所が狭いから早く脱げるように上着や靴下は脱いで行く。みんなきれいなお湯に入りたいから早く入浴したい。浴室への移動のために廊下に並ぶのだが、だいぶ早い時間帯から物を置いたりして順番をとる患者が多かった。つい先日からその仕組みがなくなり、詰所から遠い廊下の端の病室から順に検温等があり、それがすんだら浴室に行けることになった」「もうすぐ3時。みんなで買物に行く時間。早く出る時もあるので失礼します(14:40)」

3病棟(閉鎖 男性 精神一般 15:1 79床)

職員によると合併症のある患者もいるので大変、早期退院に取り組んでいるとのこと。テレホンカードは詰所預かり。詰所を境目に認知症で介助の必要な患者がAゾーン、入院時など急性期(統合失調症、

知的障がい、認知症)の患者がBゾーンに分けられていた。Bゾーンには60歳代の患者が多く、車椅子使用の患者が約10名いた。病院リース服を使用する患者が約9割。訪問時は約10名がOTに行っていた。談話室で喫煙ができる。テレビが、この部屋にあるため、多くの患者が集まっていた。食事もここでとる。廊下の壁にレクの写真が貼られていた。

患者の声

「病棟から外出することはほとんどない。半分の人は病棟入口での日光浴に連れて行ってもらえる。自分は足が歩きにくいので、階段20段は降りづらい」「患者同士の口喧嘩もよくある。入院してかえって悪くなった」「退院は先生の許可と家族の許可をとらないとできない」「入院して4ヶ月目。11月に退院する目途がたっている」「お金は持てない。売店での買物はツケで、請求書は家に届き振り込まれる」「他科受診で外の病院に行ける。2回程、血栓の手術を受けた」「職員に声をかけてもらえたら10名位で30分程散歩に行ける」「職員の言葉遣いは普通」「残高照会は詰所で聞けば教えてもらえる」「診察は詰所で、十分に話せる」「病気については先生から聞いている。薬の説明はしてもらおう」「退院の目途は師長から聞いている。薬の説明は聞いていない」「薬は談話室で配られる、部屋にいたら持ってきてくれる」

5病棟(開放 男女 精神一般 15:1 54床)

平均年齢65歳、平均入院期間869日。保健所や施設と連携し、退院促進支援事業に力を入れている。

ベッドに横になっている患者が多かった。談話室には新聞はあるが、本や雑誌は古く少なかった。行事の写真等はなかった。詰所前の廊下で、風呂上がりの患者の髪をドライヤーで乾かす職員がいた。職員は丁寧な対応をしている印象だった。貴重品管理のロッカーは5~6名が使用していた。

患者の声

「困ったことは詰所に言えば対応してくれる」「看護師は親切」「外出など自由。自分は職員付添いでイズミヤに数ヶ月に1回行くくらい。外泊は正月だけ」「金銭は受付で管理。自分の場合、月曜は出金できる。金曜はサインだけで喫茶店横の売店で買える」「グループホームなどに行く人もいる。自分は5年くらい入院しているが、退院の目途は立っておらず、たまに担当のケースワーカーと相談する」「1年程度入院しているが、病気と薬の説明はある」「薬は水道の近くで配布される。口を開けたら入れてくれる」

別館(アルコール依存症専門)病棟(開放 男女 精神一般 15:1 63床)

平均入院期間は女性が2ヶ月、男性が3ヶ月程度。アルコール以外にギャンブル、薬物依存症の患者も

いて、アディクションの治療教育に力を入れている。症状や年齢層に幅があり対応が大変なこともある。

患者は将棋をしたり、テレビを見たり、洗濯をするなど比較的賑やかな雰囲気だった。患者が廊下にコーヒーがこぼれていることを詰所に報告したところ、看護師がお礼の言葉をかけながら、すぐに掃除していた。デイルームは人数の割には狭く机が2つだった。男性用トイレは広いが、少しアンモニア臭がした。

患者の声

「入院は1ヶ月の予定」「来週退院の予定」「職員の対応はよい(複数)」「外出は詰所に声をかけて行く。午後4時まで」「入浴は週3回、シャワー3回」「携帯電話は持っている(複数)」「お金の管理は事務所。伝票を書くのが面倒」「管理料が1日50円なのでロッカーで自己管理している」「薬は持ってきてくれたり取りに行ったりする」「ケースワーカーに相談することがある」

検討していただきたい事項

拘束中の患者の尊厳について

1 病棟で廊下から、2名の患者が拘束されている様子が見えた。(病院: 出入口のカーテンを必ず閉めるよう徹底します。また、拘束中の患者には布団やタオルケットで外から見えない様に工夫をします。)

療養環境の衛生管理(3病棟)

デイルームでは床に綿ぼこりがたまっており、ゴミブリホイホイ等が散乱するように置かれていた。(病院: 清掃を今まで以上に力を入れます。)

病棟の臭いについて(1病棟、3病棟)

1 病棟は入るとすぐにかかなり強い便臭がした。3病棟 Aゾーンは便臭と尿臭がした。3病棟 Bゾーンの小便器はアンモニアが付着し茶色になっていた。(病院: オムツ交換時に汚物をビニール小袋に入れ匂いを最小限にします。可能な限り、オムツの個別交換に対応していきます。3病棟の小便器については、茶色になっており洗剤では落ちないので交換します。)

退院支援について

入院患者が高齢のため、「身内が亡くなり自分の居場所が地域になくなり、ここ以外に行くところがない」という話をされる方が複数いた。(病院: 和泉保健所等が主管している「地域移行支援事業」に毎年賛同し、定期的な院内茶話会を受入れています。また、退院前訪問指導に力を注ぎ、スタッフ連携のもとで外出支援、転帰先の開拓に動いています。閉鎖病棟入院中でも、こころの相談ネットと協力し、デイ・サロンの体験利用を実施しているケースもあります。)

分煙について(2病棟、3病棟、5病棟)

デイルームでは分煙がなされてなかった。(病院:

2病棟と3病棟は、喫煙可能な談話室と、禁煙の談話室とに分けました。5病棟は、病棟内禁煙にします。)

鍵付ロッカーの設置(3病棟)

鍵付ロッカーがなかった。(病院: 設置します。)

電話の設置場所(1病棟、2病棟、3病棟 A棟)

電話が詰所出入口の横にあり、囲い等はなかった。(病院: 位置を談話室内に移動し、衝立で囲います。)

診察時のプライバシー

前回訪問時、詰所で診察を行うことについて、病院側によると「課題であると感じている」とのことだったが、改善されていなかった。(病院: 現状では場所の確保は困難な為、衝立で対応します。)

隔離室について

天井までの高さの鉄格子があり、ナースコールがなく、職員を呼ぶには扉をたたか大きな声を出すしかない。(病院: ナースコールは本年度設置します。鉄格子の撤去は、代替の扉の製作に高額な費用と期間を要するため、まずは事業計画を立てます。)

トイレの男女共用と扉の高さについて(5病棟)

トイレは狭く、男女兼用だった。個室は上部のカーテンを開けると中をのぞくことができる。(病院: 構造上男女別にできません。隣接の待合ホールのトイレは男女別になっており、5病棟の患者も使用しています。個室トイレの扉は高い扉のものに変更します。)

入浴回数について

別館以外は入浴回数が週2回だった。(病院: 1病棟についてはシャワールームの設置を予定していません。他病棟は、当院入院患者の特性を鑑み、利用可能な患者について北館の一般浴室を開放します。)

精神保健福祉資料より(平成 25.6.30 時点)

315名の入院者のうち統合失調症群が106名(34%)、精神作用物質による精神及び行動の障害が93名(30%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が85名(27%)。入院形態は任意入院279名(89%)、医療保護入院35名(11%)。在院期間は1年未満が116名(37%)、1年以上5年未満の患者が120名(38%)、5年以上10年未満の患者が47名(15%)、10年以上20年未満が21名(7%)、20年以上11名(3%)。